No.019	解答	名前	点数
芸術作品編			／20

①	モデルの夫の姓に由来する別名「ラ・ジョコンダ」という名も持ち、 ルーブル美術館で展示されるレオナルド・ダ・ヴィンチの肖像画は何？	『モナ・リザ』
②	ゴーギャンを迎える部屋に飾るため、アルルで黄色い花瓶の花を描き、 現在SOMPO美術館にも1点が所蔵されるゴッホの有名な連作は何？	『ひまわり』
③	画家が友人と歩いている時に自然から響く強い声を感じた体験から、 赤い空と耳を塞ぐ人物を描いたエドヴァルド・ムンクの作品は何？	『叫び』
④	もとは詩人ダンテの姿として『地獄の門』の上部中央に配された、 顎に手を当てて座る姿で知られるオーギュスト・ロダンの彫刻は何？	『考える人』
⑤	港に浮かぶ船と朝日を描いた絵の題名が展覧会で批評の対象となり、 「印象派」という芸術運動の呼び名の由来にもなったモネの作品は何？	『印象・日の出』
⑥	1937年にスペイン内戦で空爆されたバスク地方の町の名にちなみ、 黒・白・灰色で戦争の惨禍を描いたパブロ・ピカソの絵画は何？	『ゲルニカ』
⑦	ウサギやカエルが人間のように遊ぶ場面を含む合計4巻からなり、 高山寺（こうさんじ）に伝わる、動物の姿が有名な国宝の絵巻は何？	『鳥獣戯画』 （ちょうじゅうぎが）
⑧	大きな貝殻に立つ女神が風に運ばれ、陸から花の衣を差し出される、 フィレンツェのウフィツィ美術館にあるボッティチェリの絵は何？	『ヴィーナスの誕生』
⑨	収穫後の広い麦畑で3人の女性が腰をかがめて作業する姿を描き、 パリのオルセー美術館が所蔵するジャン＝フランソワ・ミレーの絵は何？	『落穂拾い』 （おちぼひろい）
⑩	1820年にエーゲ海のメロス島で見つかり、両腕を欠いた姿で知られる、 ルーブル美術館に所蔵される古代ギリシャの美の女神像は何？	『ミロのヴィーナス』
⑪	1863年にエーゲ海の小島で見つかり、翼を広げた胴体が残る、 ルーブル美術館の階段に置かれた古代ギリシャの勝利の女神像は何？	『サモトラケのニケ』
⑫	旧約聖書の巨人ゴリアテとの戦いを前にした若者の姿を題材として、 フィレンツェのアカデミア美術館にあるミケランジェロの大理石像は何？	『ダビデ像』
⑬	隊長フランス・バニング・コックら市民隊が動き出す姿を描いた、 1642年完成、アムステルダム国立美術館所蔵のレンブラントの大作の通称は何？	『夜警』
⑭	中央でプラトンが天を、アリストテレスが大地を指す姿を描いた、 バチカン宮殿の「署名の間」にあり、ラファエロが制作した哲学者たちの壁画は何？	『アテナイの学堂』
⑮	中央にヴィーナス、右側に西風ゼピュロスと花の女神フローラを配し、 イタリア語で「春」を意味する名を持つボッティチェリの絵は何？	『プリマヴェーラ』
⑯	1830年のフランス七月革命を題材に、三色旗を掲げる女性を描き、 銃を持つ民衆とともに進む姿が印象的なドラクロワの大作は何？	『民衆を導く自由の女神』
⑰	種の袋を肩に掛けた農民が、夕暮れの斜面を大股で進む姿を描き、 1850年のサロンで画家の名を広めたジャン＝フランソワ・ミレーの絵は何？	『種まく人』
⑱	1滴の水が川から大海へ流れ、やがて龍となって天に昇る様子を、 全長約40メートルの長大な水墨画巻に描いた横山大観の作品は何？	『生々流転』 （せいせいるてん）
⑲	セーヌ川の中州で人々が過ごす休日を、小さな色の点を重ねて描き、 シカゴ美術館に所蔵されるジョルジュ・スーラの新印象派の大作は何？	『グランド・ジャット島の日曜日の午後』
⑳	水をワインに変えたという聖書の場面を、約130人を配して描き、 ルーブル美術館最大の絵画とされるパオロ・ヴェロネーゼの作品は何？	『カナの婚礼』